



Kowloon Shangri-La  
HONG KONG

香港郵政に送付済み。  
2011年10月21日

衆議院議員

鈴木浩二

様、

FAX: 813-

- シンガポール代表として出席した世界華僑会議(於シンガポール)での、卸売流通組合会におき「復興4特区」への投資呼びかけに続いて、香港にて、華僑財閥の創始者たち(第一世代の方々)と打合せし、報告済み。
- 代表的な牽引者である Sir Tan Sri Dr. Frank W.K. Tsao 氏 86歳は、日本の被災地復興、日本全体の復興は、日本が「経済パッケージ」からのシフトを重視し、国を開いていくことにより実現される、と、米欧からの減速する中で、シンガポールに切り口とする優良な華僑の起業家たちを含めた投資を得、国家パッケージとは早急に進めていく考えは、正解であり、最も重要なことであると、としました。TPPへの参加は、その一つの証として行っていくものであると、としました。
- また Tsao 氏は、“日本がこうしてシフト——  
・ 経済パッケージ、草案にあるような、国の慣性システムを変えていくこと (“change the Formula”)  
・ 開国として示される国家パッケージづくりに向かうこと——を実行することは、野田総理に課せられた、最も重くかつ緊急の課題だ。共同の国家パッケージは、日本が国を開いていくことへの、事実上のプログラムと捉えらるべき”と述べました。

私はこの件を野田総理にレトリ伝え、ともに行動を起こしていく考えを、Tsao 氏に伝えました。

- シンガポール国家開発者 Mah Bow Tan 大臣を筆頭とする、優良な投資機関、起業家たちの来日ミッションについては、野田総理との間で、その計画を共有しあっているが、日本の復興への国家パッケージづくりに進め、成功化させたいと考えています。

以上

